



第43期 中間報告書

平成24年4月1日 ▶ 平成24年9月30日

palro®



富士ソフト 株式会社

「ICTの発展をお客様価値向上へ結びつける イノベーション企業グループ」を目指して活動してまいります



代表取締役 会長執行役員

野澤 宏

代表取締役 社長執行役員

坂下 智保

株主の皆様には、平素格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

第43期中間報告書をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災の復興需要を背景に緩やかな回復基調を示したものの、足元の状況は、欧州債務危機を巡り世界経済が停滞する中、中国におけるビジネスリスクが表面化する等、不透明な状況で推移しております。

当業界におきましては、長引く不況により控えていた投資の顕在化や、グローバル化に伴う企業の経営効率化・強化への需要等があり、IT投資は堅調に推移してまいりました。

当社グループは、中期目標として「高付加価値事業構造への挑戦と創造」を掲げ、「ICTの発展をお客様価値向上へ結びつけるイノベーション企業グループ」を目指し、「クラウド（ネット関連ビジネスを含む）」「ロボットテクノロジー」「モバイル（様々なネット接続デバイスを含む）」をキーワードに、各事業分野において様々な施策を実行しております。

【当中間期の取り組みと業績について】

付加価値向上 ～強みのある分野への施策強化～

当社の強みであるモバイル、クラウド等の付加価値の高いICT技術分野のさらなる強化を推進し、お客様が戦略的に展開するネットビジネス分野、ネットワーク高速化に伴い強化が必要な通信インフラ分野等の、成長分野や市場ニーズの高い分野に積極的に経営資源を割り当て、事業強化を行ってまいりました。併せて、お客様対応力・営業力の強化、プロジェクト管理力の強化等を引き続き行い、プライムビジネスの拡大に取り組んでおります。

一方、プロダクト・サービス化の推進につきましては、FSDTVやFSmobile等の既存のプロダクト製品において、グローバル展開や販売拡大のための強化や見直しを行うとともに、新たな戦略商品として、スマートデバイス向けファイルストレージサービス「moreNOTE」の販売を開始いたしました。また、当社開発のヒューマノイド・ロボット“PALRO”（パルロ）につきましては、介護福祉分野への導入を推進する等、新たな展開を図っております。

グローバルビジネス

グローバルビジネス分野におきましては、当社のソウル支店の開設、さらに当社連結子会社においても、サイバネットシステム株式会社が韓国、ヴィンキュラム ジャパン株式会社がマレーシアに子会社を設立し、平成24年7月度よりビジネスチャンスを広げるべく事業活動を開始しております。

グループ戦略

グループ戦略につきましては、経営資源の最適化を図るため、平成24年7月31日に富士ソフトケーシーエス株式会社の全株式を売却し、また、富士ソフトサービスビューロ株式会社と富士ソフトSSS株式会社が平成24年10月1日に合併いたしました。

当中間期の業績について

当第2四半期連結累計期間の売上高は703億4百万円（前年同期比6.9%増）となりました。

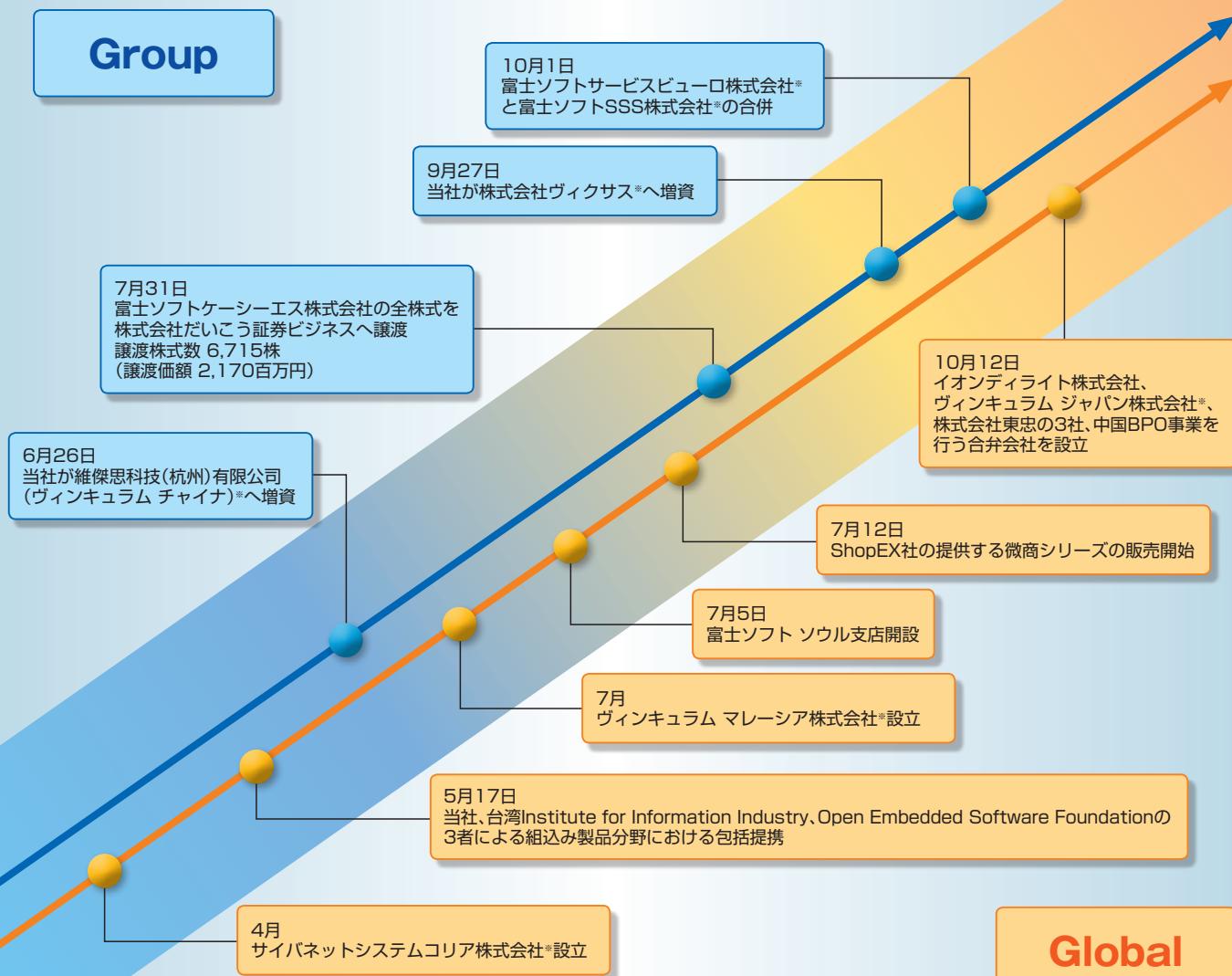
また、経費削減等により販売費及び一般管理費が127億24百万円（前年同期比3.3%減）に減少したことにより、営業利益は40億7百万円（前年同期比90.6%増）、経常利益は37億40百万円（前年同期比141.3%増）となりました。さらに、子会社売却に伴う特別利益計上により、四半期純利益は14億68百万円（前年同期比454.3%増）となりました。

当第2四半期決算を踏まえ、中間配当金を1株あたり11円（前中間期 同10円）とさせていただきます、平成25年3月期期末配当金につきましても1株あたり11円（前期 同10円）とさせていただきます予定となっております。

株主の皆様におかれましては、これまでと変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

グループ戦略・グローバルビジネス分野の進捗状況

Group



Global

※:当社関係会社

Focus (事業探訪)

moreNOTE™

moreNOTEは、PDFなどのドキュメントファイル、動画や画像を、iPhone/iPadに簡単に配信できるサービスです。製品パンフレットや会社紹介動画を、社内の営業担当者全員に向けて配信したり、営業担当者が独自で作った資料を自分専用に配信することも可能です。端末の紛失や盗難に備えたファイルの暗号化機能や端末認証機能も搭載。いつでもどこでも必要な時に、必要な人が安全にコンテンツの閲覧を行うことができます。

当社では、moreNOTEをオリジナル戦略商材と位置づけ、本年10月1日には「moreNOTE事業部」を発足させ拡販体制を整えました。また、11月以降、日本経済新聞での広告掲載やセミナー開催などのプロモーションを実施しています。



暮らしの中の富士ソフト

人気アプリ“Refills”が、NIKKEIプラス1の日常生活の助っ人アプリ優良版で2位にランクイン

日本経済新聞土曜日版の「NIKKEIプラス1」(5月19日)で特集された「日常生活の助っ人アプリ」の有料版2位に“Refills”がランクインしました。

“Refills”はiPhone・iPad版をサイバネットシステム株式会社*、Android版を当社が販売する、注目の人気アプリです。

有料版ランキングでは、睡眠や食事に関わるものなど、健康管理に役立つものが並ぶ中、当社カレンダーアプリの“Refills”は2位にランクイン。他の有料アプリに比べて価格は高いものの、1ヶ月のスケジュールを一度に画面内に表示でき、ビジネスにも役立つ!と評価されました。

※:当社関係会社



日/週/月毎のスケジュールビュー

株主総会で当社開発の議決権行使システムによる採決を導入

平成24年6月25日に開催された当社第42回定時株主総会では、ICT企業としての取り組みとしてiPadを利用した当社開発の議決権行使システムによる採決を導入し、

来場した株主の皆様様の議決権行使結果を正確に反映した集計結果をその場で開示しました。



※iPadはApple Inc.の商標です。

ソウル支店開設

平成24年7月5日、台北支店に続く2つ目の海外拠点として、「富士ソフト ソウル支店」を開設しました。韓国において、当社の強みである通信機器やデジタル家電マーケット分野の売上規模が拡大しており、ソウル支店を開設することにより、より地域に密着した営業活動を展開し、グローバル企業との取引拡大を図っていきます。



「介護ロボット普及推進センター」 公開事業協定締結式にPALRO®が登場

神奈川県介護ロボット普及推進センターの公開事業とは、急速に進む高齢化を踏まえ、今後、ますます重要性が増す、介護、医療分野の従事者の負担軽減、サービスの質の向上等につなげるため、介護・医療現場で介護ロボットを活用し、開発・改良促進を図るとともに、活用方法を広く県内の介護、医療関係者等に公開し、導入の検討を支援することで、介護ロボットの開発支援、普及促進を図ることを目的とした事業です。

平成24年7月13日に神奈川県庁で行われた協力事業者との協定締結式には、現場に導入される5機種種のロボットのひとつとしてPALROも登場し、会話やダンスを披露しました。



協定締結式当日の様子
(左から協力事業者である社会福祉法人同慶会、医療法人社団成仁会の松井理事長、PALRO、神奈川県黒岩知事)

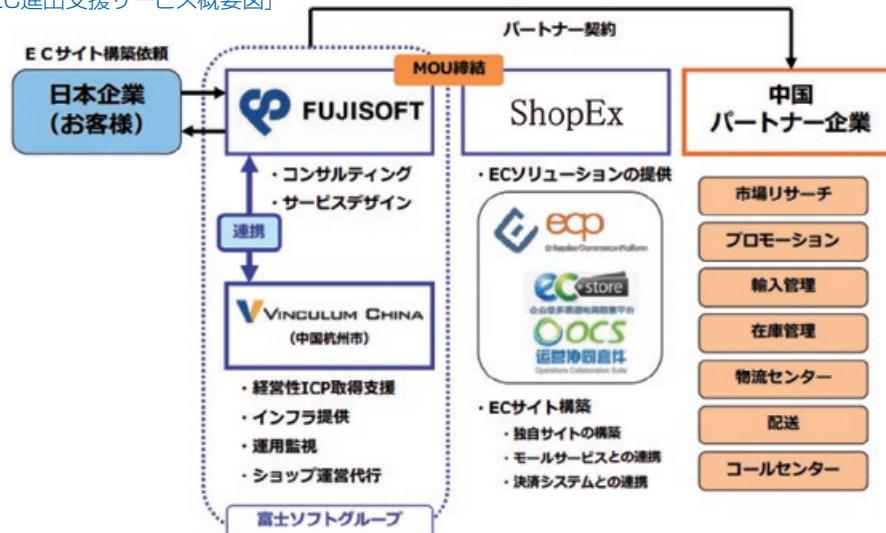
日本企業向け中国ECソリューションビジネスに参入 日本企業の中国進出をワンストップでサポート

現在、急成長を遂げる中国市場に参入を希望する日本企業が相次いでいます。しかし、これまで日本企業が中国EC市場に参入する際、商習慣の違いや物流インフラなどの問題があり、期待した効果が得られないという課題がありました。

当社と中国市場で約10年の実績を誇るShopExは、ShopExの提供する中国ECパッケージを日本企業向けに共同でカスタマイズ開発し、中国EC市場参入を希望する日本企業向けにカウンターパートナーとなり、参入前のコンサルタントから参入後のシステム構築、運用サポートまでワンストップで支援します。中国におけるデータセンターなどのインフラ支援や販売・運営代行支援などに関しては、グループ会社の「富士ソフトVCC」が行います。

当社とShopExは、日本企業の中国進出を一丸となり、全面的にサポートします。

[中国EC進出支援サービス概要図]



※経営性ICPとは、Internet Contents Providerの略。中国政府によるサイト審査制度。中国国内で営利目的のウェブサイトを公開する際に必要となるライセンスを指します。
※ShopExは、上海商派网络科技有限公司の別称。

連結財務諸表 Consolidated Financial Statements

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結会計 期間末(第43期) 平成24年9月30日現在	前連結会計年度末 (第42期) 平成24年3月31日現在
●資産の部		
流動資産	47,073	49,019
現金及び預金	13,174	13,420
受取手形及び売掛金	26,349	28,364
商品	229	340
仕掛品	2,183	1,662
原材料及び貯蔵品	28	31
その他	5,108	5,199
固定資産	102,077	106,724
有形固定資産	72,850	74,340
無形固定資産	8,364	9,334
投資その他の資産①	20,861	23,049
資産合計	149,151	155,744
●負債の部		
流動負債	37,084	40,343
買掛金	7,374	7,902
短期借入金②	5,500	8,869
1年内返済予定の長期借入金②	9,595	8,762
未払費用	7,550	7,281
その他	7,063	7,527
固定負債	26,581	30,212
長期借入金	19,033	21,829
その他	7,547	8,382
負債合計	63,666	70,555
●純資産の部		
株主資本	84,549	83,390
その他の包括利益累計額	△ 9,150	△ 8,699
新株予約権	94	95
少数株主持分	9,990	10,401
純資産合計	85,484	85,188
負債純資産合計	149,151	155,744

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結累計期間(第43期) 平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで	前第2四半期連結累計期間(第42期) 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで
売上高	70,304	65,788
売上原価	53,573	50,526
売上総利益	16,731	15,262
販売費及び一般管理費	12,724	13,159
営業利益①	4,007	2,102
営業外収益	218	288
営業外費用	485	840
経常利益	3,740	1,550
特別利益②	299	41
特別損失	17	232
税金等調整前四半期純利益	4,023	1,359
法人税、住民税及び事業税	1,925	536
法人税等調整額	393	320
法人税等合計	2,318	856
少数株主損益調整前四半期純利益	1,704	502
少数株主利益	236	237
四半期純利益	1,468	264

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結貸借対照表のポイント

①投資その他の資産

投資有価証券の期末時点の時価評価が下がったことや、敷金の返還等により減少しました。

②短期借入金・1年内返済予定の長期借入金の合計

借入金の返済を進めたことにより減少しました。

連結損益計算書のポイント

①営業利益

売上高の増加及び継続的なプロジェクト管理の強化による採算性の向上と、金融系統合案件の拡大に加え、のれんの償却の減少も寄与し、大幅増益となりました。

②特別利益

富士ソフトケーシーエス株式会社 株式の売却益(284,266千円)を計上しております。

配当金について

当第2四半期決算を踏まえ、中間配当金を1株あたり11円(前中間期 同10円)とさせていただきます。
また、平成25年3月期期末配当金につきましても1株あたり11円(前期 同10円)とさせていただきます予定となっております。

HPのご案内

当社のHPでは、IR情報やプレスリリース等の最新情報を掲載しております。ぜひ一度ご覧ください。

<http://www.fsi.co.jp/>

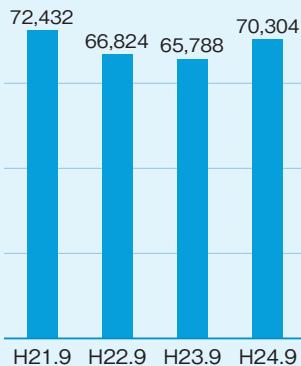


有価証券報告書、四半期報告書については、当社HPの他、金融庁の運営するEDINETでもご確認いただけます。

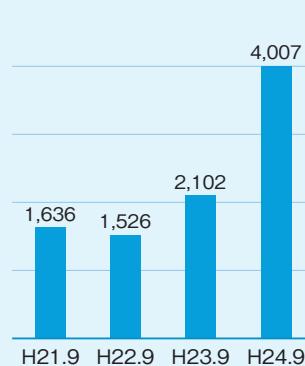
<http://info.edinet-fsa.go.jp/>

■財務ハイライト(連結) Financial Highlights

●売上高(単位:百万円)



●営業利益(単位:百万円)



●経常利益(単位:百万円)



●四半期純利益(単位:百万円)



CSR（企業の社会的責任）

1. 東日本大震災復興支援の取り組み

当社グループでは、これまで義援金の寄付やICT（情報通信技術）を活用した復興支援、社員のボランティア活動の支援などを行ってまいりましたが、さらに、より地域に密着した復興支援を行うため、平成24年4月1日付で社内組織として「社会貢献室」を設置しました。

今後も、ICTを活用した支援を通じ、東日本大震災の復興に継続的に取り組んでまいります。

福島県会津若松市の特産物・農産物の即売会開催

平成24年8月3日、当社は復興支援の一環として、秋葉原オフィス近くの和泉公園広場にて開催された秋葉原東部納涼大会で、福島県会津若松市の特産物や農産物を販売いたしました。

被災自治体へのソフトウェアとパソコンの無償提供

被災自治体には、全国の自治体から応援職員が派遣されていますが、復興支援業務に使用するソフトウェアとパソコンが不足しています。

当社は、平成24年7月～8月にかけて岩手県大船渡市と岩手県大槌町の役場にソフトウェアとパソコンを無償提供いたしました。



2. 障がい者雇用

当社は特例子会社である「富士ソフト企画株式会社」を通じて、積極的な障がい者雇用を推進しています。

障がい者と健常者がともに「働く場」を整備することで、平成14年1月に法定雇用率1.8%を達成、その後は特例子会社制度の適用をグループ各社に拡大し、平成23年度は富士ソフトグループ全体で2.13%の雇用率となりました。

同社は日本で最多の精神障がい者を雇用する企業として、そのノウハウを活かした就労支援プログラムを構築し、数多くの就労希望者をサポートするとともに、障がい者雇用促進に関する講演会やセミナー、年間で800名を超える見学者の受け入れなど、積極的に対応してきました。

こうした実績が評価され、独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構の主催（厚生労働省後援）による「障害者雇用職場改善好事例」において、平成21年度（テーマ：精神障がい者）に続き平成23年度（テーマ：発達障がい者）も最優秀賞（厚生労働大臣賞）を受賞しました。



平成23年度 障害者雇用優良事業所等全国表彰式にて

株式の状況 (平成24年9月30日現在) Stock Information

会社概要 Corporate Data

●株式の状況

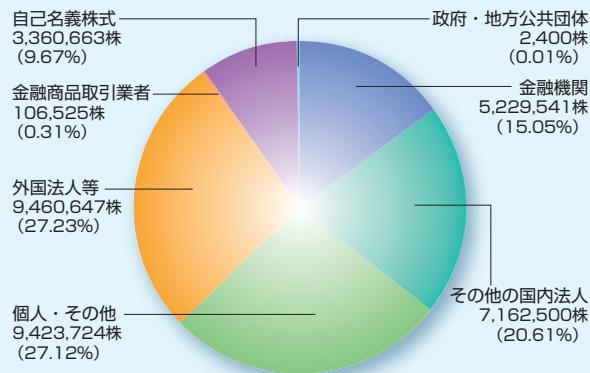
- 発行可能株式総数 …………… 130,100,000株
- 発行済株式の総数 …………… 34,746,000株
- 株主数 …………… 11,298名
- 単元株式数 …………… 100株

●大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
ノーザントラストカンパニー(エイビーエフシー) サブアカウントアメリカンクライアント	4,248	13.54
有限会社エヌエフシー	3,228	10.29
野澤 宏	2,412	7.69
ノーザントラストカンパニーエイビーエフシーリユー エスタブスエグゼンブテッドベンションファンズ	1,711	5.45
東京センチュリーリース株式会社	1,138	3.63
新井 隆二	1,022	3.26
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	969	3.09
ザチェースマンハッタンバンクエヌエイ ロンドンエスエルオムニバスアカウント	706	2.25
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	658	2.10
富士ソフト社員持株会	639	2.04

(注) 1. 当社は、自己株式を3,360,663株所有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

●所有者別株式分布状況



●概 要 (平成24年9月30日現在)

名 称 富士ソフト株式会社
 英語名称 FUJI SOFT INCORPORATED
 本社所在地 〒231-8008 神奈川県横浜市中区桜木町一丁目1番地
 TEL : 045-650-8811 (大代表)
 設 立 1970年(昭和45年)5月15日
 資 本 金 262億28万円
 従 業 員 5,482名

●役 員 (平成24年12月1日現在)

代表取締役
会長執行役員 野澤 宏
 代表取締役
社長執行役員 坂下 智保
 取締役
常務執行役員 今城 浩一
 取締役
常務執行役員 山口 昌孝
 取締役 吉田 實
 取締役 相磯 秀夫 ※1
 取締役 二見 常夫 ※1
 常勤監査役 石村英二郎 ※2
 監査役 生嶋 滋実
 監査役 元石 一雄 ※2
 監査役 石井 茂雄 ※2

常務執行役員 竹林 義修
 常務執行役員 豊田 浩一
 常務執行役員 佐藤 諭
 常務執行役員 野澤仁太郎
 執行役員 渋谷 正樹
 執行役員 木村 宏之
 執行役員 須藤 勝
 執行役員 田原 大
 執行役員 布目 暢之
 執行役員 安江 令子
 執行役員 内藤 達也
 執行役員 白石 善治
 執行役員 小谷 知哉
 執行役員 原井 基博

※1は社外取締役
 ※2は社外監査役

■株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日
期末配当基準日 3月31日
中間配当基準日 9月30日
定時株主総会 毎年6月に開催
単元株式数 100株
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

同連絡先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL : 0120-232-711 (通話料無料)
公告掲載URL <http://www.fsi.co.jp/ir/notify/>
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

【配当金計算書について】

同封いたしております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づき作成する「支払通知書」を兼ねております。配当金をお受取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。

なお、配当金を証券口座でお受取り（株式数比例配分方式）の株主様は、お取引のある証券会社へご確認ください。

■全日本ロボット相撲大会®

当社は、全日本ロボット相撲大会を毎年開催しています。「全日本ロボット相撲大会」は、「ロボット作りを通して『ものづくり』の楽しさを知ってもらう場を提供する」ことを目的に平成2年より開催し、今回で24回目を迎える国内最大規模のロボット競技大会です。

今年は、8月26日(日)に福島県須賀川市で開催された東北大会を皮切りに、全国9ヶ所で地区大会を開催し、全国大会進出をかけた1,300台の“ロボット力士”が全国各地で技術とアイデアを競う熱戦を繰り広げてきました。地区大会を勝ち進んだ142台と海外トーナメントで上位入賞した18台の計160台が全国大会に進み、優勝者には文部科学大臣杯が授与されます。

今年は12月16日(日)に、両国国技館において「第24回全日本ロボット相撲全国大会」を開催いたしますので、株主の皆様におかれましてはぜひ会場へご来場の上、直径1.54mの土俵の上で繰り広げられる、スピーディーでパワフルな戦いをご覧ください。

【第24回全日本ロボット相撲全国大会】

日時：平成24年12月16日(日) 11:00～16:00

場所：東京・両国 国技館(東京都墨田区横綱1-3-28)

ご来場之际には、本「第43期中間報告書」をご持参の上、会場受付にてご提示ください。



第24回全日本ロボット相撲大会ポスター



富士ソフト株式会社 www.fsi.co.jp

本社 〒231-8008 神奈川県横浜市中区桜木町一丁目1番地 TEL : 045-650-8811 (大代表)



この印刷物はベジタブル
インクで作成されています。